

どうなる、どうする社会保障制度

ホントにお金がないの？ 財源問題から考える

主催：三重県保険医協会 後援：三重県社会保障推進協議会・伊勢新聞社・朝日新聞社・中日新聞社・三重タイムズ社・株式会社夕刊三重新聞社



とき 2018年5月27日(日) 13:30~15:00

ところ 三重大学生物資源学部大講義室

(津市栗真町屋町 1577)

対象 どなたでもご参加できます

参加費 無料

講師 住江憲勇氏(医師・全国保険医団体連合会会長)

【講師からのメッセージ】

戦後 70 数年を国民生活からみて概括しますと、1980 年をターニングポイントとして政府・資本側からの国民・労働者への新たな攻勢が強まり、この間の世論操作・誘導によって今日の国民・労働者が被る種々の困難がもたらされています。

したがって、同じ轍を踏むことは許されません。あらためて搾取・収奪の実態を学習し直し、国民一人ひとりが心の底からの怒りとなる世論を今こそつくりだしましょう。

※全国保険医団体連合会とは、各都道府県で設立される保険医協会・保険医会が加盟する医科・歯科一体の全国組織です。会員数は約 10 万人。「保険医の経営、生活ならびに権利を守ること」「保険で良い医療の充実・改善を通じて国民医療を守ること」を目的に活動を行っています。

現政権の社会保障政策を許すのか ～貧困と格差拡大の根源を考える～

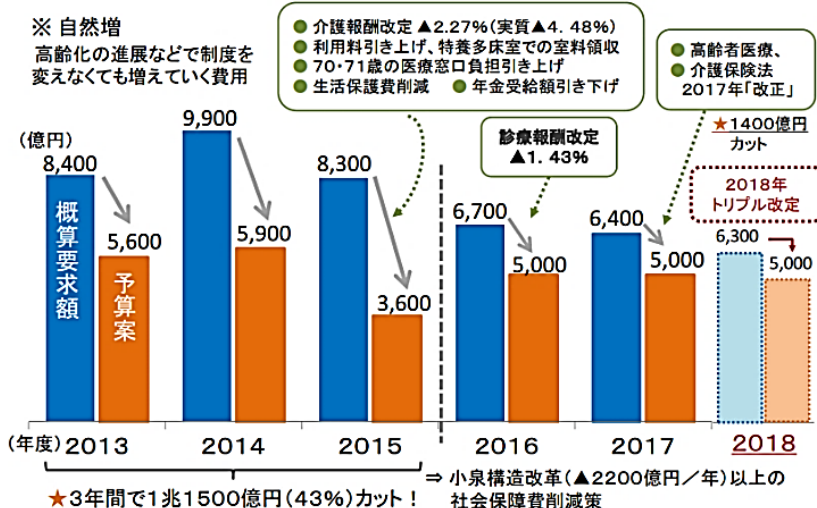
私たち保険医協会は、「クイズで考える私たちの医療」や請願署名で、国の社会保障制度を良くする運動を進めています。

今、現政権のもとで、社会保障予算の自然増が大幅に抑えられ、家計の負担が大きく増え、暮らしが大変です。

貧困・格差が広がるなか、安心して子育て、医療、介護などを利用できない状況が大きく広がっています。私たちの暮らしを支える社会保障について、経済大国と言われる日本でホントにお金=財源がないのか、ごいっしょに考えてみませんか。

社会保障費「自然増」分の削減(2013~2018年度予算)

「経済・財政一体改革」(2016~2018年度予算)=5000億円まで削減



参加申し込みは、
三重県保険医協会へ
TEL059-225-1071